

☕ワールドカフェ

上尾！伊奈！さいたま！

パートナーシップ宣言！

～地域を越えて共に育もう、ソーシャルキャピタル～



令和2年10月11日（日）開催
さいたま市浦和コミュニティセンター

1. はじめに

【本事業の開催背景と意図について】

地方分権一括法の成立により、住民自治の観点から地域市民の声を幅広く地方行政に取り入れる必要が求められ、サイレントマジョリティの意見を拾い上げる手法として、市民討議会が多くの地域で開催されてきました。埼玉中央青年会議所でも、過去8年間に渡り、活動エリアである、上尾市・伊奈町・さいたま市の中で、伊奈町に限定し町民討議会を開催してきました。

しかし、平成22年に「新しい公共」宣言が行われ、行政だけが公共の役割を担うのではなく、地域の様々な主体（市民・企業等）が公共の担い手の当事者としての自覚と責任をもって活動することが求められるようになりました。そこで、市民と行政との対話に重点をおき、参加者の主体性を引き出し、良質な対話の場を作ることが可能であると言われる「ワールドカフェ」形式による開催を企画しました。（「次世代型協働による総合計画の策定」内閣府経済社会総合研究所）

「行政に声を届ける」という一方通行ではなく、「新しい公共」の理念実現に向けた、市民参加型協働社会を目指すうえでも、また行政の枠組みを超えた創造的対話を生み出すためにも、まちづくりへの参加意識の高い2市1町による市民・町民と行政職員の対話を創出する「ワールドカフェ」方式が適切であると考えました。

【地域間連携の重要性について】

上尾市における転入者の転入元市町村と、転出者の転出先市町村を見るといずれもさいたま市が圧倒的に多い結果となっています。また、通勤通学者に関しても、いずれもさいたま市が圧倒的に多い結果となっています。（「上尾市地域創生長期ビジョン上尾市地域創生 総合戦略」平成27年）

一方、伊奈町についても転入元市町村と、転出者の転出先市町村を見てもいずれもさいたま市が最多となっており、次いで上尾市となっています。（「伊奈町まち・ひと・しごと創生 総合戦略」平成28年）また、市町村別の通勤・通学先（伊奈町を除く）でもさいたま市が最多となっています。（「伊奈町総合振興計画策定に係る町民意識調査結果報告書」平成25年）

以上のことから、経済・教育の課題についても、単独自治体で全てを解決することは難しいのではないのでしょうか。各地域の課題を本質的に解決するためには、地域市民が自治体の枠を超えて協働して課題解決にあたる必要があります。

【行政の枠に捉われないソーシャルキャピタルの創出】

さらに、総務大臣主催の「自治体戦略2040構想研究会」がまとめた報告書では、人口減少社会を迎えた我が国において、このままでは高度医療や高等教育、交通結節機能、ビジネス支援機能、商業施設など都市の集積を基盤として圏域全体の生活や産業を支えてきた都市機能の維持が困難になるおそれがあり、それは指定都市や中核市も例外ではないとしています。そして、以上の危機を乗り越えるためには、個々の市町村が行政ありきのフルセット主義から脱却し、生活実態と一致した地域間で連携したまちづくりを、市町民同士が協働して考えていく必要があります。

以上、行政の枠にとらわれないソーシャルキャピタルの創出を目指して、本事業の開催に至りました。

2. 開催概要

事業名： ワールドカフェ『上尾・伊奈・さいたま！パートナーシップ宣言！
～地域を越えて 共に育もう、ソーシャルキャピタル～』

日時： 令和2年10月11日（日）10：15～16：30

場所： 浦和コミュニティセンター（多目的ホール）、各集会室（3室）

主催： 公益社団法人埼玉中央青年会議所

共催： 伊奈町 さいたま市

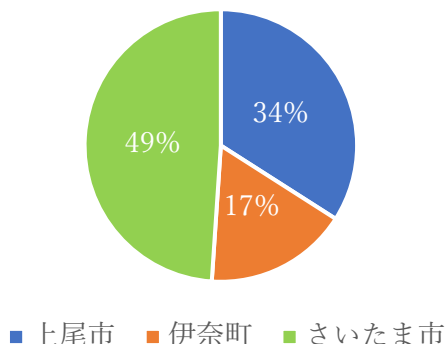
3. 参加者について

対象者：上尾市、伊奈町、さいたま市に在住、在勤、在学の方

参加者総数：2市1町 47名（行政職員11名）

参加者内訳：上尾市 16名
伊奈町 8名（行政職員 4名）
さいたま市 23名（行政職員 7名）

参加者内訳



4. プログラム

・開会の挨拶	10:15～10:30
・基調講演	10:30～11:20
・オリエンテーション	11:20～11:35
－休憩・部屋の移動	11:35～11:50
・アイスブレイク	11:50～12:30
－休憩（昼食）	12:30～13:10
・ワールドカフェ	13:10～15:30
－休憩・部屋の移動	15:30～15:45
・全体共有・振り返り	15:45～16:25
・閉会のあいさつ	16:25～16:30

5. 基調講演

「地域の課題解決とソーシャル・キャピタル」

埼玉大学大学院人文社会科学研究科 齋藤友之教授



基調講演では、冒頭、地域の公共問題を解決するためには、地域の人々がもたらす活動という資本を上手に使うことが重要であり、それはいろんな人の力を用いて街づくりをしていくことが大切であるという話で始まり、以下4つの章立てで講演が進んでまいりました。

はじめに『新しい公共の担い手の登場』では、公共問題の解決にはどのようなものがあるのか、また公共問題を解決する政策に関心が集まったのかについて。

次に『多様な協働の推進』では、問題を解決する仕組みとして、協働が重視されている

こと。また、2市1町とも参加と協働が重要な位置づけとして位置づけられていること。そして、協働とはなにか、協働はどのような価値を持っているのか、協働はどのような条件が揃えば望ましい形になるのかについてお話がありました。

次に『ソーシャルキャピタルへの注目』では、協働を成立させる前提条件として、最近ではソーシャルキャピタルが重視されていること。またソーシャルキャピタルとは一体何なのか、どのような点で役に立つのか、ソーシャルキャピタルが上手くいった事例が紹介。

最後に『ソーシャルキャピタルの創出』では、ワールドカフェ自体がソーシャルキャピタルの創出に意味がある仕掛けであること。本日の体験を地域に持ち帰り、有効に活用していただきたいとのお話で基調講演が締めくくられました。

6. テーマ

問1：皆さんのお住まいの地域で不便、若しくは課題であると感じることは何ですか？

ルーム①「教育・保育・福祉について」

ルーム②「交通・経済・防災について」

ルーム③「自由討議（地域間連携に関すること）」

問2：問題を解決するために、行政がやるべきことは？また私たちに何ができますか？

7. 政策提言

●テーマ：教育・保育・福祉

班名：チーム臼田

課題：子どもの居場所づくり

問題意識：核家族化が進み、共働きの家庭が増えたことで、子どもが一人ぼっちで過ごす時間が多くなり、子どもの居場所が少なくなったのではないか。また、昔は駄菓子屋さんなど、外で子ども達が集まれるような居場所があったが今はそういった場所も減少した。

解決策：子どもが気軽に集まれる場所をつくる。関係性をつくり、その後の悩みなどを聞けるようにする。

提案①：Park-PFI¹制度を活用した公園併設型カフェの設置

公園にカフェを設置することで、みんなが集まれる新たな居場所をつくる。

提案②：コミュニティスクール²の推進

コミュニティスクールを推進することで、地域の大人が学校で学べないものを学校で企画・実施し、子ども同士の関係性をつくる。

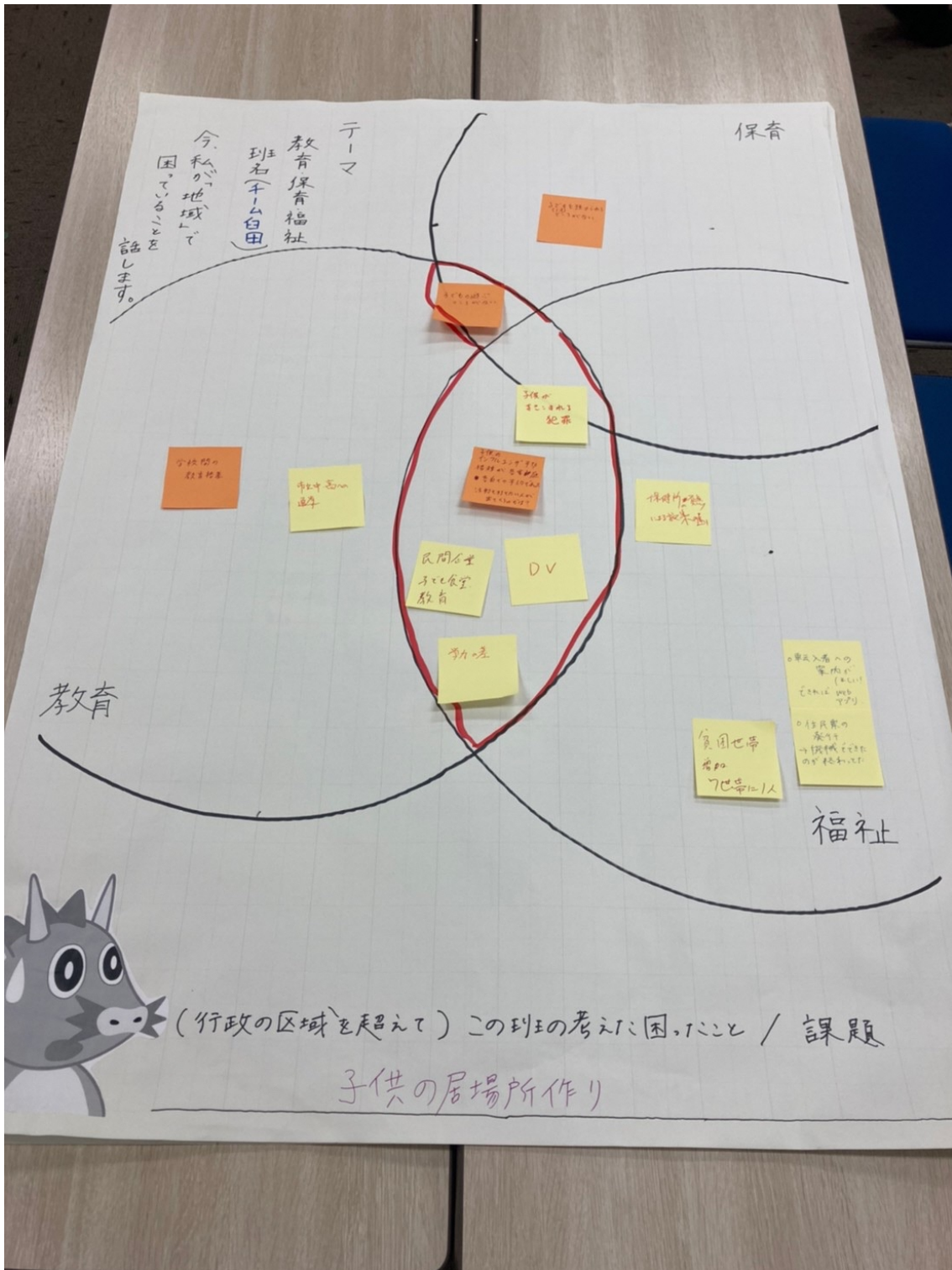
説明：地域に人が集えるような新たな居場所をつくることで、親御さん同士が子育てに関する悩みなどを話し合うことができ、その結果として虐待などが減る効果が期待できる。また、子どもたちのリアルなコミュニケーションを推進することでいじめを防止する。

講評（齋藤友之教授）：高齢化社会において、子どもを地域で守り育てるというのは大きな課題（テーマ）。討議の中で、政策の窓が開いており（ゴミ箱理論）、とてもよかった。

この政策によってどのような効果が見込まれるかまで、落とし込まれており良い発表であった。

¹ 平成 29 年の都市公園法改正により新たに設けられた、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。（国土交通省 HP より）

² コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。（文部科学省 HP より）

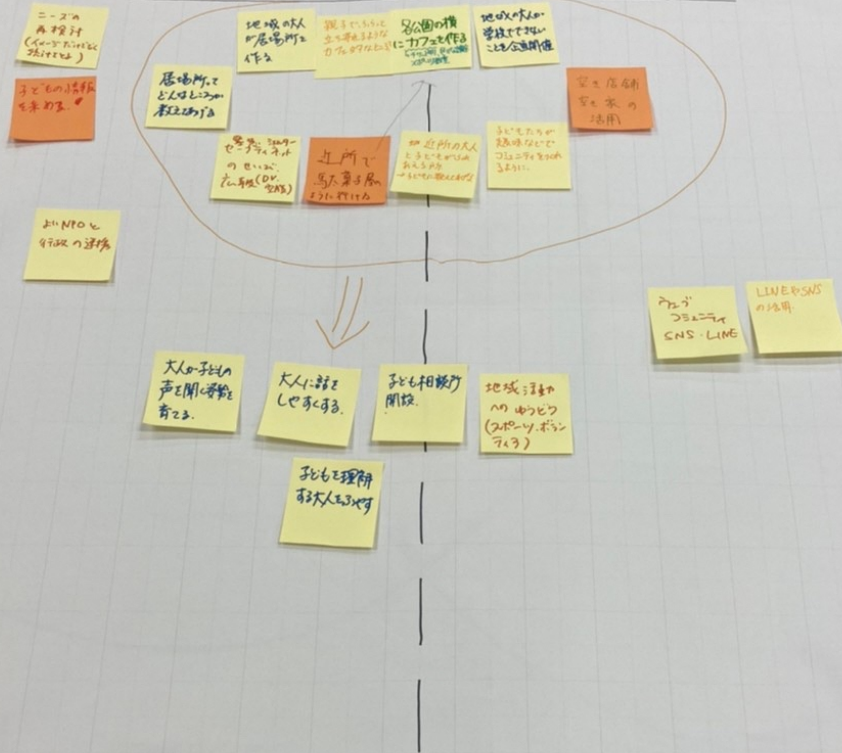


この「困った」を解消するために、私たちにできることは何ですか？
(行政の区域を超えて)この問題の考えに困ったこと / 言葉足らず

子どもの居場所作り

行政区域内

行政区域外



- (行政の区域を超えて) 私たちがやりたいこと / 解決策
- 子供が気軽に集まれる場所をつくる。
- 関係小生をつくり、その後悩みなどを開けるようにする。



●テーマ：交通・経済・防災

班名：薬科大駅伝チーム

課題：それぞれを繋ぐ交通機関が欲しい。

問題意識：2市1町（さいたま市・上尾市・伊奈町）間の移動において、交通機関が繋がっていないが故に帰ることができなかったり、目的地に着くまでに労力を必要とすることがあり不便。

解決策：市民・事業者・行政・団体が作る公共交通機関等 AI サイト

提案：公共交通機関等 AI サイトの創設

それぞれの地域・交通手段を繋ぐ情報が一括で表示される情報サイトを作ること、2市1町間での移動を最適化させる。併せて、AI（人口知能）を活用し地域情報の提供を行う。

説明：議論を深めていく過程において、交通手段自体に問題が有るのではなく、交通手段を繋ぐ情報が無いのが一番の課題ではないかという結論に至る。

そこで、2市1町間の移動において、行きたい目的地を入力すれば、バス・電車・タクシー・レンタサイクルも含め、それぞれの地域・交通手段を繋ぐ情報が一括で表示される情報サイトを作ること、2市1町間での移動を最適化しストレスフリーなものとする。

また、AI（人口知能）を活用した学習機能で、各々の好みに合わせた情報の提供（例えば、昼食時に地元お勧めのお店を紹介等）することで、現在存在する民間情報サイトとの差別化を図り、地域間の移動、経済の活性化を促進する。

講評（齋藤友之教授）：交通政策は基礎自治体にほとんど権限がないウィークポイント。そうしたなかで、実現性の高いアイデアを出された。

また、ルーム全体が共通して交通を課題として挙げていることから、テーマを交通に設定したということで、テーマ設定がエビデンスに基づき客観化されている。

そして、交通機関が繋がらない理由に関しても、情報が共有されていないのではないかとこのところまで議論が深掘されている。もしかするとすぐに実現可能かもしれない。広告をとればビジネスとしても成り立つのではないか。

交通

バス停が
遠いので
利用しずら
い

自動車の運
送が少なく
なればらう
しよう

京浜東北
線入国線
(新大塚...)

JRが無い
ニュータウンの
運営が悪い

2市1町
が道路の
作りが悪い

北上尾が
97年〜2000年

信号機
がない

コロナで
バス会社の
倒産不安

バスの乗客
が少ない

上尾から
伊豆のバス
の本数が少ない

近くに外食
店がない
が

バスの乗り
継ぎ

バスがない
田舎の
路線バス

国道沿
交通機関
がない

地元の
食料を
持ち帰る
人が多い

お酒を飲めば
どこかへ行く

農産物
の運搬

地域の駅
利用
go to travel

互いの
名前を
知らない

2市1町
の名物

駅前と駅
の間の
距離が長い

観光客の
来ない
理由

ケニアの
道路が
よくない

町内バス
がなくて
不便

2市の
町内

地元の
町内バス
がなくて
不便

経済

防災



(行政の区域を超えて) この町を考えた国、県、市 / 言葉
それぞれをつなぐ交通機関が欲しい!

●テーマ：地域間連携自由討議

班名：チームLOVE

課題：2市1町の存在感を高めたい。

問題意識：2市1町（さいたま市・上尾市・伊奈町）は全国的にみると存在感が薄い。特産品や観光資源が乏しいことが課題であり、もっと2市1町のことを知ってもらうことが重要である。

解決策：2市1町合同イベント

提案：2市1町合同花火大会

2市1町合同の花火大会を開催。日本一の打ち上げ数を目指す。

説明：2市1町合同で花火大会を開催することで打ち上げる花火の数を8万発に増やし、現在日本一の打ち上げ数である長野県諏訪市の4万発を大きく上回ることができる。

そして、現在日本一の打ち上げ数を誇る花火大会を2倍の数で上回ることができれば、メディアの注目を集めることが可能であり、この地域の存在感が高めることが期待できる。

講評（齋藤友之教授）：非常に引き込まれた。市民や企業の寄付があれば8万発も実現できないものではないと思う。

市民、関係機関との協働によって毎年ではなくとも、数年に一度であれば実現可能なイベントであり、また実現すれば是非観てみたいイベントである。

テーマ

地域間連携

自由討議

班名 (Love)

今
私
が
地
域
で

困っていることを話します

予者文後
其弱也

12.11.12
SPEECH
Lecture 10

1998年12月

3011 9772
25 7 無情
6111

2000.00
(2000.00)

自來水の pH 値
約 7.5 ~ 8.5
pH 7.5

台風1:55
12h 5h

南京線
1月28日
表11

自転車
7.7472

どやあって
2市1町の
存在感も
出ている

イベント ● 情報の共有

伊奈の存在感
（増大）



(行政の区域を超えて)この国の考えに因ったこと / 課題

2市1町の存在感を高めたい!!

テーマ 地域間連携自由討議

班名 (

Love

この「困り」を解消するために、私たちにできることは何ですか？
(行政の区域を超えて) この班の考えた「困り」こと / 言葉題

2市1町の存在感を高めたい!

行政区域内で
私たちにできること

行政区域を超えて
私たちにできること

他の地域
との差別化

特産品
を生かす?

広報で
連携

毎年2月1日
から3月31日

2市1町
の交流を
促進する

対市民

↓

他市住民向け
広報・別冊は
情報の受け手
にとっては、情報
発信元が分岐
でなく、はす

住民・経済人
職員同士が
実際に話し
合いを知る

2市1町の
交流の機会
を増やす

観光の
まちづくり

住民
参加型の
情報発信
写真映え
する魅力を
創出

広域情報
ポータルサイトを
共同(市民)で
作成する

他地域では
SNS 発信が
スローに
なっている

市町村
の連携
を促進する

電線
の架け
撤去

手入を
減らす
ための
整備

ゴミ(鳥)
対策

ゴミ(鳥)
対策

SNS
教育

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

教育
の
連携

(行政の区域を超えて) 私たちがやりたいこと / 解決策

・教育で2市1町合同で何かする!! (教育が素晴らしい地域)

・2市1町合同花火大会(開催地は持ち回り)

(広報連携・名物披露等)



8. 全体講評：齋藤友之教授

皆さんが思い思いのことを討議されているということがはっきりとわかりました。「素人が集まっても所詮素人なんだから駄目なものは駄目に決まってるだろ」と言われがちですが、ワールドカフェもソーシャルキャピタルも、実は生身の普通の人々がちゃんと議論すれば皆理解してアイディアを出され、課題の解決も政策づくりもできる。

行政の専売特許である公共性も役所だけがつくるものではないし、皆さんがつくるもの。皆さんが本日されたことがまさに公共性そのものです。「新しい公共」を実践されて体験なさった。

9. まとめ

この未曾有のコロナ禍において、2市1町という自治体の枠を超え広域の地域市民にお集まりいただき、ワールドカフェが開催できたことは、極めて価値のあるものであると考えております。

地域市民による活発な活動は地域を支えるうえで必要不可欠なものです。それはコロナ禍であっても変わらないものであり、むしろこの危機的状況の中で、いかに活発な地域活動を継続させるかは喫緊の課題であると受け止めております。

その様な中で、対面のワークショップであるワールドカフェを50名弱の参加者の方にお集まりいただき、活発な地域市民の活動を下支えできたこと、改めてご協力いただいた伊奈町、さいたま市の方々に御礼申し上げます。

一方で、今回、上尾市には共催をいただけませんでしたが、埼玉中央青年会議所として本事業が2市1町の連携を強めるきっかけとなるよう、引き続き上尾市に協力いただけるように働きかけて参ります。

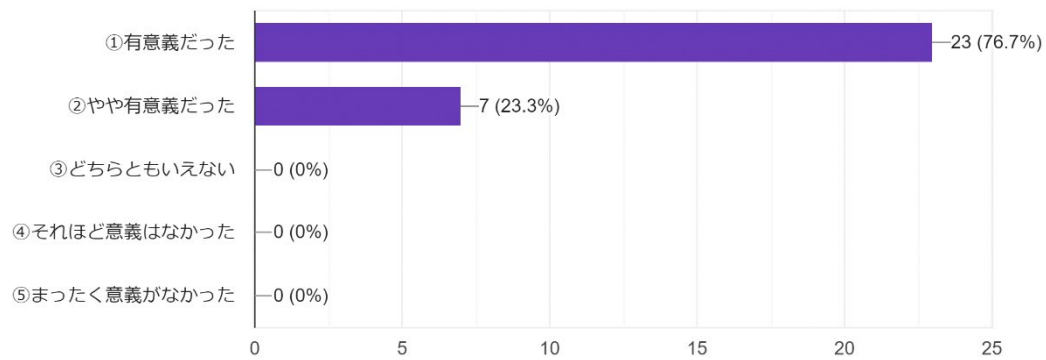
さて、この度の報告書には、地域市民である一般参加者から行政職員、青年会議所メンバーが一日をかけて議論に議論を重ねた成果物である政策提言が3つほど盛り込まれております。内容をご確認いただいたのち、ぜひ市政・町政に活かしていただければ幸いです。

「次年度は上尾市での開催を目指して！」今後もこの地域における行政の枠を超えたソーシャルキャピタルの醸成を目指し、鋭意取り組んで参りますゆえ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

10. アンケート結果

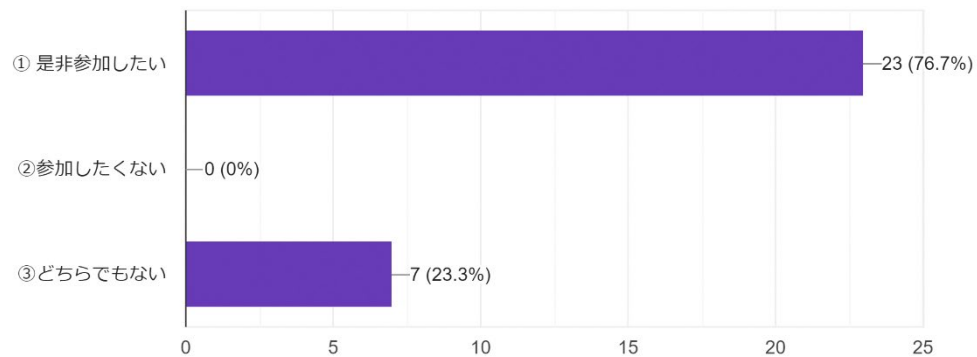
1. ワールドカフェに参加されていかがでしたか？

30 件の回答



2. 来年も開催されるとしたら参加したいと思いますか？

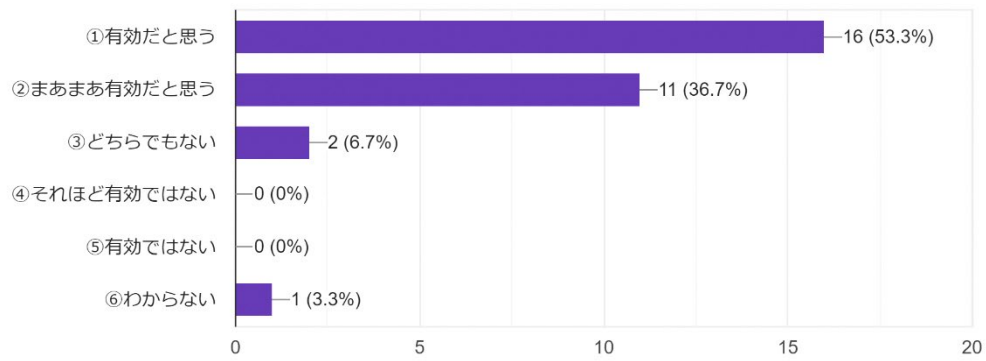
30 件の回答



3.

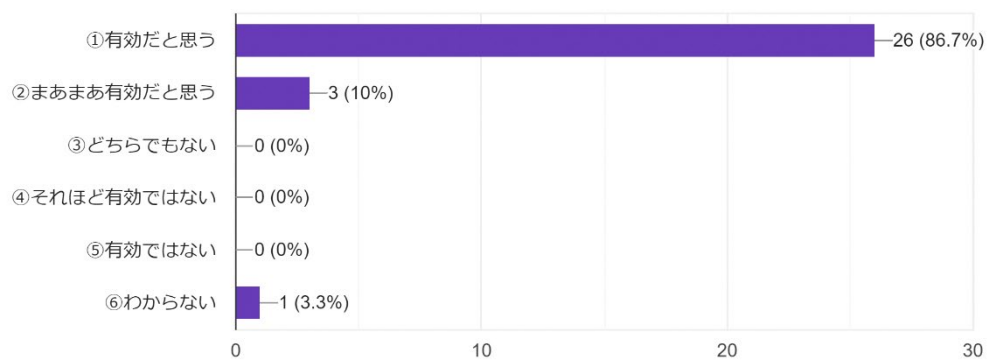
今回のワールドカフェが行政に市民の声を反映させるのに有効な方法であると思われましたか？

30 件の回答



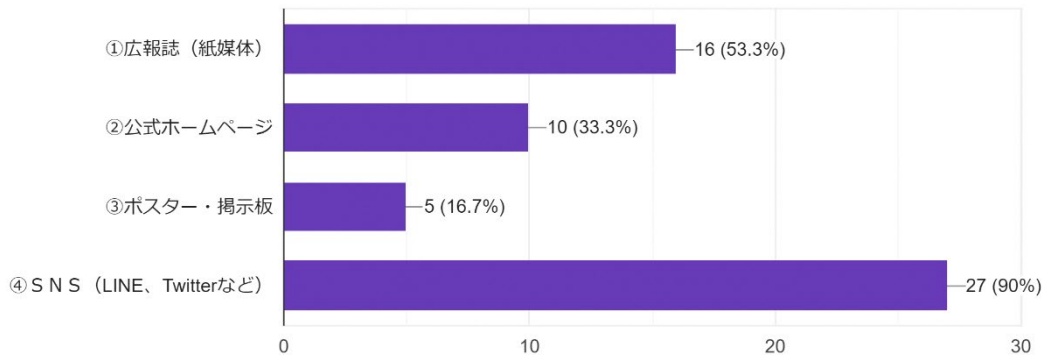
4. これからの地域課題を解決する際に、自治体の縦割りを超えた連携が有効だと思いますか？

30 件の回答



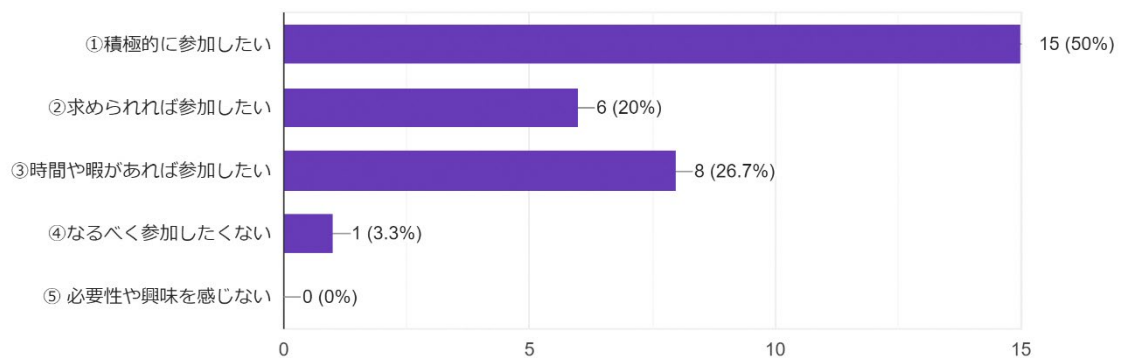
5. 地域活動の情報についてどのような方法で発信されると有効だと思いますか？

30 件の回答



6. これからの地域活動への参加についてどのようにお考えですか？

30 件の回答



6. で、①積極的に参加したい、②求められれば参加したい、③時間や暇があれば参加したいと答えた方へ伺います、どのような地域活動に参加したいですか？具体的にお書き下さい。22 件の回答

お祭りイベント

今回のような地域の課題を考えるワークショップ、地域でのイベントの手伝い等、その他興味が湧いたもの

広報活動

自然観察の会などならわりあい得意です。 傾聴の勉強もしているのでわりあい得意です。

意見交換型のワークショップ

協働のまちづくり(街づくり協議会)

子どもの関係

地域の問題の解消

討論形式の集まり、会議など

市町村をまたいだ定期的なこのような会議

教育・地域貢献活動・課題共有、解決案検討

・地域活動のための活動 ・マスコットキャラクターを使った活動

まちづくり、人づくり

学習支援ボランティア

今回のようなワールドカフェ

地域の教育に対するボランティア等

まちでやるイベント

これまでは地域活動に参加してきましたが、イベント等にも関わっていきたい

お祭り、町内会活動

ゴミ拾いなどのボランティア活動

現在も積極的に参加しています

ワールドカフェについて、ご意見・ご感想などをご記入下さい。（内容は自由です。）

※テーマ設定、運営、会場等について 19 件の回答

高校生を含め様々な分野で地域に関わっている方のお話を聞くことができて良かったです。年代や立場が異なれば異なる課題や魅力、情報を持っていらっしゃるので気づきも多かったと思います。

ラウンドごとに違った意見が述べられて楽しい雰囲気とともに有意義な時間となった

自分の国に戻った時全く違うテーマになったものの結論をめざしたのは初めてだった。結論を出すときに何かしっくりこないまま着地した気持ちがある。テーマが広すぎたのだろうと思う。もう少し具体的な狭いものならテーマがすりかわった気分になるのは防げる気がします。

JCI、行政に関わる方々と交流ができて良かったです。

通常のワークショップ形式より意見を把握できるため非常に有効な手法であると思う

とても良かったです。ありがとうございました。

開催における会場づくり、手法など非常に参考になりました。

和気あいあいとした非常にアットホームな雰囲気活気ある意見交換ができました。今後もワールドカフェ形式でぜひ提言活動を継続して行ってほしい。

テーマの範囲が少し広がった

このようなワールドカフェが今後も継続的に行えば良いと思います。各プレゼンをみると共通課題があることが理解できてワールドカフェのすばらしさを感じた。

お疲れ様でした。おかげさまで楽しくすごせました。

有意義でした、ありがとうございました。

有意義な取組だと思うので毎年開催したほうが良いと思う

ファシリテーターが優秀でした

貴重な経験になりました。長時間ではありましたが、いろいろな意見、考え方を聞くことができ、あっという間だったと思います。

若者が集まるイベント

とても良い取り組みで行政単独で実施できにくいため継続・発展を宜しくお願い致します。

発想の飛躍が体感できて楽しかったです

二市一町の市民活動団体の方が多く参加されると各市各町のことが分かったのではないのかと思いました。各市各町の実情を知りたかったです。

1 1. 当日の様子（写真）











